



公益財団法人

福島県体育協会

R2 福体協ニュース

令和2年12月4日 (No.20-6)

令和2年度のおそんで体力アップアップ事業「指導者養成講習会」を開催しました！

本協会では毎年、公益財団法人東日本大震災復興支援財団支援事業の一環として、おそんで体力アップアップ事業「指導者養成講習会」を実施しています。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で事業開始が遅れたものの、感染拡大防止対策を適切に講じながら合計3回の講習会を実施しました。

	日時・会場名・講師名
①	令和2年9月26日(土) NCVふくしまアリーナ(福島市) 株式会社こども体育研究所 松本英将氏
②	令和2年10月25日(日) 鶴ヶ城体育館(会津若松市) エスアールシーカンパニー 佐藤弘道氏
③	令和2年11月7日(土) 新舞子体育館(いわき市) 足利短期大学こども学科 准教授 小野覚久氏

本講習会は、子どもたちが遊びながら体力と運動能力を向上させたり、スポーツへの興味・関心を高めたりすることができるように指導者自身のさらなる指導力向上を図ることを目的としています。

第1回目は、9月26日(土)に福島市のNCVふくしまアリーナで開催され、県北地区を中心に14名の幼稚園・保育園の先生方、幼児教育を志す学生等が参加しました。講師には、株式会社こども体育研究所福島支部の松本英将氏をお迎えし、コロナ禍でも実践できる運動について実技講習と講義を行っていただきました。実技講習では、子どもの心をほぐすアイスブレイクの手法をはじめ、動物などになりきって遊ぶ模倣を中心とした運動遊びや、縄跳びなどの用具を用いた運動遊び、室内で行う多様な運動遊びについて指導していただきました。また、講義では、幼児期の発育・発達段階や身体能力に応じた運動の取り組ませ方の工夫や、身体を上手にコントロールするために必要な36の基本動作の重要性についてお話をいただきました。さらには、ほめる指導や段階的指導など、子どもが運動を好きになるための指導の工夫や、子どものやる気を引き出すコミュニケーションスキルについてなど、幅広い知識を教えていただきました。



第1回目の活動の様子

第3回目は、11月7日(土)にいわき市の新舞子体育館において開催し、いわき地区、南相馬地区を中心とした県内の幼稚園から11名の先生方が参加しました。

講師には、足利短期大学こども学科の小野覚久氏をお迎えし、人間が本来もっている潜在能力に刺激を与え、引き出すためのトレーニング法「コーディネーショントレーニング」について講義と実技講習を行っていただきました。受講者は、講義ではメモをとりながら真剣に聞き入り、実技では身近にあるものを使った簡単な運動や遊びを通してコーディネーショントレーニング法を学びました。受講後のアンケートでは、「園にある用具で、すぐにできそうな運動や指導に活かしていきたい内容が多々あり、とても勉強になりました。」「運動を通して子どもたちの気持ちの切り替えができることを知り、さっそく実践してみたいと思いました。楽しく、ためになる時間をありがとうございました。」といった感想をいただきました。

このように参加された先生方にとっても大変意味のある講習会となりました。本協会では、この指導者養成講習会を通じ、指導者のスキルアップ向上を支援しながら、本県の次世代を担う子どもたちの体力向上、運動能力向上に取り組んでいきたいと考えています。(※2回目の活動の様子は次号に掲載します。)



第3回目の活動の様子